

○ 第55回水工学講演会の諸費用について

第55回水工学講演会の費用について、本年度第一回水工学委員会にて、審議し下記のとおり決定いたしましたので、連絡致します。

1. 著者負担金：¥23,000+CD送付料(¥900)。著者負担金には、論文CD代(¥5,000)と発表者の参加費(¥3,000)が含まれます。
2. 論文集CD代：¥5,000
3. 参加費：¥3,000(今回から参加者全員から参加費を頂戴致します。)

今回の水工学講演会から、下記の変更が実施されます。これに伴い上記の諸費用の改定となりました。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

- 来年から水工学論文集は、土木学会論文集B1(特別号)として毎年8月にJ-STAGEから電子ジャーナルとして発行されます。
- J-STAGE発行のため、掲載論文については、本原稿のPDFファイルの他に、BIBファイルと本文のTEXTファイルを提出頂きます(専用窓口より電子登録)。
- BIBファイルは、J-STAGEを始め全世界の電子ジャーナルサイトおよび論文検索エンジンなどにおいて必要となる情報ファイルであり、極めて重要なファイルです。この内容の責任は基本的に著者に持っていただきますが、その入力支援システムを準備いたします。
- 以上の水工学論文集の変更に伴い、諸費用を確保するため、今回より著者負担金を増額すると共に参加費を頂くことに致しました。
- 水工学論文集のJ-STAGE公開は、講演会終了後の同年8月になりますので、2月に例年通り論文集CDを発行致します。CD購入は例年通り、事前購入と会場販売を行います。料金は¥5,000(昨年度まで¥8,000)と致しました。

○ 講演会発表者の資格について

講演会発表者には会員登録を義務づけております。土木学会の会員でない方で今年度論文投稿を予定されている皆様におかれましては、8月末時点で会員(入会金、年会費の送金を完了し、会員番号を受領していること)である必要があります。会員番号がないと論文の電子登録・電子投稿ができません。

注) 昨年度までは、9月に入会手続きを行った場合にも受け付けた例がありますが、今年度より、“8月末入会手続き完了”を厳守して頂きます。

○ 論文審査における重点審査項目について

水工学論文集の論文をより充実させるため、論文審査における重点審査項目を設定しています。

本年度の論文審査における重点審査項目は、「論文完成度の向上」とします。論文の完成度とは、研究の完成度を意味するものではなく、具体的には下記の項目を意味します。

- ① 文章の推敲が十分行われていること。－論文の構成、目的、結果の明確性、図表の分かり易さなどを含む。
- ② 既往の研究のレビューがしっかりなされていること。－対象とする研究分野の既往の研究について、主要な論文が落ちなく引用され、適切に評価されているか、それを踏まえ対象分野における位置づけが明確になっているか、など。
- ③ 英文アブストラクト－英語表現、英文アブストラクトとしての構成になっているか、など。

以上